



福島県医発第1906号(地)

平成29年10月18日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻一良

(公 印 省 略)

日本医師会 ORCA 管理機構（株）による
日医標準レセプトソフト クラウド版のリリースについて

今般、日本医師会 ORCA 管理機構（株）より、日医標準レセプトソフト クラウド版（以下「日レセ クラウド」）をリリースした旨、別添のとおり日本医師会より連絡がありました。

日レセ クラウドは、現在、各医療機関でご利用いただいている日医標準レセプトソフトと同等の機能を、クラウドサービスとして提供するもので、ネットワークへの攻撃や通信障害等の脅威に対するセキュリティ対策も十分に勘案されており、ユーザーの先生方に安心かつ安全にご利用いただけるサービスであることを、日本医師会も確認しているものです。

つきましては、現在、リリース記念キャンペーンも開催されておりますので、貴会におかれましても本件についてご了知いただきますとともに、貴会会員への周知方につき、よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

医療情報システム担当理事 田中泰之
会長 白石恒明

(情シ 26) F
平成 29 年 10 月 3 日

郡市区等医師会
情報システム担当理事

日本医師会 常任理事
石川 広己



日本医師会 ORCA 管理機構（株）による
日医標準レセプトソフト クラウド版のリリースについて

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本会会務に対して各段のご高配を賜り深く感謝申し上げます。

さて、今般、日本医師会 ORCA 管理機構（株）は、日医標準レセプトソフト クラウド版（以下「日レセ クラウド」）をリリースいたしました。

日レセ クラウドは、16,000 以上の医療機関でご利用いただいている日医標準レセプトソフト（以下「日レセ」）と同等の機能を、クラウドサービスとして提供するものです。

日レセ クラウドにつきましては、ネットワークへの攻撃や通信障害等の脅威に対するセキュリティ対策も十分に勘案されており、ユーザーの先生方に安心かつ安全にご利用いただけるサービスであることを、日本医師会としても確認いたしております。

また、従来型の日レセと比べ、在宅診療や往診といった診療スタイルの多様性に対応可能であり、院内の機器の管理・運用の手間も軽減することができます。

現在、リリース記念キャンペーン（詳細は別紙の日医ニュース 10 月 5 日号チラシ参照）を開催しており、従来以上に普及促進に尽力していく所存ですので、ご多忙の中大変恐縮ですが、貴会会員の先生方に対するご案内方よろしくお願い申し上げます。

敬具



いよいよリリース！ 日レセ クラウド



日医標準レセプトソフト クラウド版「ORCA」

つながる

安心・安全をモットーに電子カルテや他機器と連携し院内のICT化を支援します。



ひろがる

様々な利用シーンでの活用や医療連携などへの参画がスムーズに行えます。



みらいへ

これから始まる電子加算への対応やオンライン資格確認に最適な環境を提供します。



日レセ クラウド版リリース記念キャンペーン

- VPNルーターの無料提供
- 平成31年9月末までのVPN利用料が無料

お申込み期限：
平成30年2月末日まで

先着
300名様
限定

お問い合わせは日医認定ORCAサポート事業所または日本医師会ORCA管理機構へ

日医標準レセプトソフト クラウド版「ORCA」

医療現場の「安心」と「安全」を考えた医事会計ソフトウェア

ORCAプロジェクト※1は発足から17年が経過しました。日医標準レセプトソフトのユーザー数は会員方の支持を得て着実に増加を続け、各種レセプトコンピュータの中でも代表的な存在として認知されるに至りました。

日本医師会では、2016年に今後の日医の医療分野のIT化の新たな指針として「日医IT化宣言2016」を公表、ORCAプロジェクトも新たなステージへと向かうこととなりました。

わが国の皆保険制が高度な社会保障基盤へ移行するための基盤を目指し、みなさまの医療介護IT化のため第一弾として、日医標準レセプトソフトクラウドサービスの提供を開始します。

医療機関の安心と安全に細心の注意をはらったシステムです（「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」準拠）。

利用シーンが広がります

- ICTを活用したこれからの医療に対応しやすくなる
- 院内のサーバが減り省スペースとなる
- モバイル対応なので、在宅や往診先などでレセプトや請求書の発行ができる
- 自宅でレセプトの確認ができる
- 自宅で医業収益が確認できる

医療連携に参画しやすくなります

- 地域医療連携／多職種連携に参加しやすくなる
- 組織でのグループ内連携が容易に構築できる
- 医療・介護の連携が容易になり、将来のPHRの礎になる
- 医学の向上など公益に資する研究に参加しやすくなる

様々なOS・ハードで利用できます

- 端末の代替機が簡単に準備できる
- 院内にサーバが不要になる
- インターネット環境と端末があればシステムを構築できる
- スマホ、タブレットでの利用が可能となる

医療費改定などの負担が減ります

- クラウドサーバで一括管理されるので医療改定に伴うプログラムの更新作業が不要になる
- 医療費助成制度(地域公費)への対応が業界統一
- 制度改正に伴うプログラムが無償で提供される
- 支払基金改革に伴うレセプトチェックに対応できる(予定)

安心・安全に利用できます

- 安心なVPN環境※2が構築できる
- 電子証明書が端末を守る
- 災害に強いデータセンターで情報が管理される
- レセプトデータは医療機関毎に独立して管理される
- 患者の基本情報は暗号化して守られる
- 従来どおり院内にデータを置く場合はトラブルに備えた「バックアップサービス」が利用できる

クラウドサービスが広がります

- 日本医師会ORCA管理機構の各クラウドサービスと一緒に利用できる
- 多くの電子カルテや周辺機器と連携できる
- 経営分析、遠隔問診OPサービスとも連携可能
- いろいろな医療クラウドサービスとの連携が期待される
- 各種電子加算への対応やこれから始まるオンライン資格確認に対応できる

※1 ORCAプロジェクト(Online Receipt Computer Advantage)は、2000年に日本医師会でスタートした医療現場のIT化を支援するプロジェクトです。2015年12月より日本医師会ORCA管理機構(株)が運営を受託しています。

※2 ハードウェア(ルータ)とソフトウェアのVPNによる2重化が可能(キャンペーン中は無料)。ネットワーク回線や機器の障害の際には別回線(携帯電話の回線など)で安全に接続が可能です。



日本医師会ORCA管理機構

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-1-21 コロナ第3ビル6階

TEL : 03-5981-9681(代) FAX : 03-5981-9682

<https://www.orcamo.co.jp/>

お問い合わせ : ginbee-application@orcamo.jp